



2011.07.07_T (「東京タワー」シリーズより) ©Ryudai Takano, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

鷹野隆大 ある日の東京タワー

会期：2022年7月9日(土) - 8月7日(日)

会場：CAPSULE

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-7-12 B1F

営業時間：土曜日・日曜日 12:00-19:00 (月-金曜日 休廊)

*オープニングレセプションは開催致しません。

【トークイベント】

登壇者：鷹野隆大×沢山遼 (美術批評家)

日時：2022年7月10日(日) 17:00-18:00

会場：CAPSULE

※事前申込制

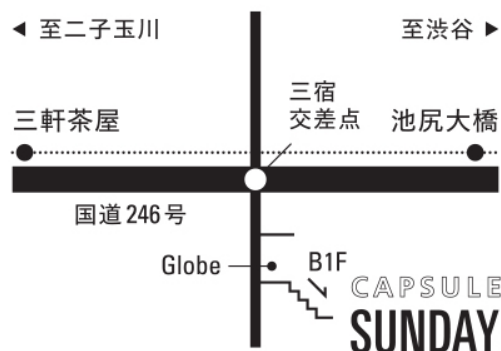


CAPSULE

東京都世田谷区池尻 2-7-12 B1F

Tel: 03-6413-8055 (SUNDAY)

<http://www.capsule-gallery.jp/>



2022年7月9日(土)より、アートスペースCAPSULEにて、鷹野隆大個展「ある日の東京タワー」を開催いたします。

写真家・鷹野隆大は、1998年より、原則として毎日、自宅マンションから見える東京タワーを撮影する試みを「毎日写真」の一貫として開始しました。定点観測的に継続されるこのシリーズにおいて、鷹野は、東京タワーとその周囲の光景を被写体として、東京の街が刻々と移り変わる様を、日々淡々と写し撮っていきました。

本展では、膨大な数にのぼる「東京タワー」のシリーズから2002年から2011年までの10年間のうちに撮影された、それぞれ異なる年の7月7日から8月7日までの1ヶ月の写真(32日×10年間分)の計320枚を一挙展示する試みです。また、国立国際美術館で開催され



た「鷹野隆大 毎日写真1999-2021」展で展示されたプリント6点も合わせて展示するほか、2007年以降に着手したポジフィルムによる撮影のなかから、近作に至るまでの写真を時系列でスライド上映します。

本展は、「鷹野隆大 毎日写真1999-2021」展の「文化庁 令和3年度（第72回）芸術選奨 美術部門」の受賞を記念する、受賞記念展として開催されます。これまでまとまって見る機会の少なかった「東京タワー」を公開する貴重な機会となります。ぜひご覧ください。

■アーティストステートメント

今回、会場に貼り出す大量の写真は、日常性をイメージさせやすいカラーコピーを使用した。写真の裏にはその日のわたしの行動が記してある。

これらは日本を代表する建造物である東京タワーの写真であると同時に、そのアングルは極めて個人的なものである。誰も見たことのない視点から撮られた、よく知られたものの写真。果たしてそのような写真が、それを見た人にとって、十数年前あるいは二十年前を想う契機となるのか、今回はそのあたりを考えてみたいと思う。

(2022年6月 鷹野隆大)

■関連情報

【トークイベント情報】

登壇者：鷹野隆大×沢山遼（美術批評家）

日時：2022年7月10日（日）17:00-18:00

会場：CAPSULE

参加費：無料（事前予約制）

【お申し込み方法】

件名に「7/10トークイベント参加」、本文に「お名前」「参加人数」「電話番号」をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp までメールでお申し込みください。*ギャラリーから返信メールが届かない場合、営業時間内にお問合せください。*お申し込み及びキャンセルのご連絡は、前日7月9日(土)までにご連絡いただきますようお願いいたします。

登壇者プロフィール

沢山遼（さわやまりょう）

1982年生まれ。武蔵野美術大学造形研究科修士課程修了。美術批評。著書に『絵画の力学』（書肆侃侃房、2020年）。主な共著に、『絵画との契約—山田正亮再考』（松浦寿夫ほか、水声社、2016年）、『現代アート10講』（田中正之編著、武蔵野美術大学出版局、2017年）などがある。女子美術大学ほか非常勤講師。

■アーティストプロフィール

鷹野 隆大（たかの りゅうだい）

1963年 福井県生まれ

2006年 第31回木村伊兵衛写真賞 受賞

2022年 文化庁令和3年度(第72回)芸術選奨美術部門文部科学大臣賞 受賞

2022年 第38回写真の町東川賞国内作家賞 受賞

東京都在住

<個展>

2021 「鷹野隆大 毎日写真 1999-2021」 国立国際美術館美術館、大阪

2020 「With me」 Ibasho Gallery、アントワープ、ベルギー

2018 「Find Your Fantasy」 FANZA×#FR2 @#FR2 GALLERY 2、東京

「欲望の部屋」 AYUMI GALLERY CAVE、東京

2017 「Y式」 Operation Table、福岡

2016-17 「距離と時間」 NADiff Gallery、東京

2016 「光の欠落が地面に届くとき 距離が奪われ距離が生まれる」 ユミコチバアソシエイツ、東京

2015 「残影」 森岡書店、東京

2014 「ヒモとコーラ：大宰府の高松次郎」 Capsule、東京

「2014年1月から比較的最近まで、撮影順に」 ユミコチバアソシエイツ、東京

2013 「香港、深圳 1988」 ツァイト・フォト・サロン、東京

「ビジュアルアーツギャラリー写真展 vol.139 「とりあえず撮ってみた」」 ビジュアルアーツギャラリー、大坂

2012 「立ち上がれキクオ」 ツァイト・フォト・サロン、東京

「モノクロ写真」 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京

「NADiff Window Gallery vol.18 毎日写真」 NADiff Window Gallery、東京

2011 「鷹野隆大展」 E&C ギャラリー、福井



- 2010 「金魚ブルブル」 ツアイト・フォト・サロン、東京
「それでも、ワールドカップ」 東塔堂、東京
「イキガー」 ギャラリーラファイエット、沖縄
- 2009 「花街びと」 ギャラリーM、愛知
「男の乗り方」 GALLERY at lammfromm、東京
「公開製作 46 記録と記憶とあと何か」 府中市美術館、東京
「おれと」 NADiff Gallery、東京
「EARLY MONOCHROME」 日本橋高島屋 6 階美術画廊 X、東京
「花々し」 新宿高島屋 10 階美術画廊、東京
- 2008 「ゆらぎ」 カームアンドバンクギャラリー、東京
「ばらばら」 ツアイト・フォト・サロン、東京
「毎日写真」 ユミコチバアソシエイツ/銀座、東京
- 2007 「毎日写真」 GALLERY at lammfromm、東京
- 2006-07 「ぼくの部屋」 ギャラリーM、愛知
- 2006 「男の乗り方」 ツアイト・フォト・サロン、東京
「第 31 回木村伊兵衛写真賞受賞作品展 In My Room」 コニカミノルタプラザ ギャラリーC、東京
「イン・マイ・ルーム」 NADiff Gallery、東京
- 2005 「Common Sense」 ツアイト・フォト・サロン、東京
- 2002 「Twelve Messengers (十二使徒)」 ツアイト・フォト・サロン、東京
- 2001 「たとえば、裸体」 イル・テンポ、東京
- 2000 「ヨコたわるラフ」 ツアイト・フォト・サロン、東京
「カ・ラ・マ・ル」 ギャラリーmai、東京
- 1999 「人体ーその等倍という幻想」 ツアイト・フォト・サロン、東京
- 1996 「集合する肉体」 イル・テンポ、東京
- 1995 「カ・ラ・マ・ル」 ギャラリーmai、東京
- 1994 「日本」 コニカプラザ東ギャラリー、東京
「こわれてゆく女の標本」 平永町橋ギャラリー、東京

<グループ展>

- 2021 「TOKYO: ART&PHOTOGRAPHY」 Ashmolean Museum Oxford」 オックスフォード、イギリス
「写真の写真と写真」 Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京
「DECADE」 Operation Table、福岡
「日本の現代写真 1985-2015」 東京都写真美術館、東京
- 2020-21 「公開制作の 20 年 メイド・イン・フチュウ」 府中市美術館、東京
- 2020 「コレクション展 2020-II 特集 肖像(わたし)」 広島市現代美術館、広島
- 2019 「JAPAN UNLIMITED curated by Marcello Farabegoli」 frei_raum Q21 exhibition space / MuseumsQuartier、ウィーン、オーストリア
「アマナコレクション展 04 - 鷹野 隆大、津田 直」 IMA gallery、東京
「解放され行く人間性 女性アーティストによる作品を中心に」 東京国立近代美術館、東京
「国際ダンス映画祭 2019」 スパイラルホール、東京
- 2018 「浅間国際フォトフェスティバル」 御代田町、長野
- 2017-18 「沖縄県立美術館開館 10 周年記念展 邂逅の海一交差するリアリズム」 沖縄県立博物館・美術館、沖縄
- 2017 Group Exhibition Vol.3 「HAKKA」 ミツバコウサクショ、東京
総合開館 20 周年記念 TOP コレクション 「シンクロニシティ-平成をスクロールする 秋期」 東京都写真美術館、東京
写真分離派 「写真の非倫理 - 距離と視角」 NADiff Gallery、東京
- 2016-17 「moment」 Alternative Space LOOP、ソウル、韓国
- 2016 「友人作家が集う - 石原悦郎追悼展 "Le bal"」 ZEIT-FOTO SALON、東京
「総合開館 20 周年記念 TOP コレクション 東京・TOKYO」 東京都写真美術館、東京
「Internationale Photoszene Köln」 ケルン、ドイツ
「夏・終わりとはじまり」 東京日本橋高島屋 6 階美術画廊 X、東京
「WATCHQUEEN 展」 スパイラルホール、東京
- 2015-16 「愛すべき世界」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川
- 2015 「きっと、だれもが、だれかに、恋をする」 Gallery Soap、福岡
「エディション・ワークス Prints & Originals」 GALLERY SPEAK FOR、東京
「Come Close: Japanese Artists within their Communities」 BUS Project Galleries、オーストラリア
- 2014 「Group Exhibition vol. 2 HAKKA」 BankART Studio NYK/2A ギャラリー、神奈川
「ヴァンヌーボ×15 人の写真家」 竹尾 見本帖本店 2F、東京
「ジャパン・アーキテクツ 3.11 以後の建築」 金沢 21 世紀美術館、石川
「複々線」 現代 HEIGHTS Gallery Den、東京
TOKYO PHOTO 2014 「日本の写真ってなんですか？ 1 部」 東京ビル TOKIA、東京
「5 人の写真」 ツアイト・フォト・サロン、東京
「Unknown Nature Series No.5 「Recombination 組み換え」」 アユミギャラリー、東京
「これからの写真 光源はいくつもある」 愛知県美術館 [愛知芸術文化センター10 階]、愛知
「写真分離派展 「日本」」 京都造形芸術大学ギャルリ・オープン、京都



- 2013 「Complex Media コンプレックスメディア展 by 版画工房エディション・ワークス」アートコンプレックス・センター、東京
 「引込線 2013」旧所沢市立第2学校給食センター、埼玉
 「Face Value: Portraits from The Kinsey Institute」The Kinsey Institute Gallery、インディアナ、アメリカ
 「鷹野 隆大+秦 雅則 [写真か?] 展」BankART Studio NYK 1F / BankART Mini、横浜
 「Works by Edition Works, 東恩納裕一、鷹野隆大」ユミコチバアソシエイツ、東京
 「CABINET LIBRARY Vol.5」Port Gallery T、大阪
- 2012 「黒い白」ユミコチバアソシエイツ、東京
 「Missing Youー長島有里枝、野村佐紀子、鷹野隆大 写真展」渋谷ヒカリエ 8/CUBE1,2,3、東京
 「写真分離派宣言」アートギャラリーC・スクエア、名古屋
 「鷹野隆大×秦雅則 展示とトーク第2回 [写真は?]」blanClass、横浜
 「MIO PHOTO OSAKA2012」天王寺ミオ、大阪
 「PORTRAITS」日本橋高島屋6階美術画廊X、東京
- 2011 「鷹野隆大×秦雅則 展示とトーク第1回 [写真か?]」blanClass、横浜
 「ANTIFOTO 2011」Kunstraum、デュッセルドルフ、ドイツ
 「印刷-日本現代写真集展」パリ、フランス
 「AKARI」ユミコチバアソシエイツ、東京
 「発科展」竜宮美術旅館、横浜
 「MODERNITY STRIPPED BARE」University of Maryland、ワシントン、アメリカ
- 2010 「写真分離派宣言」NADiff Gallery、東京
 「スナップショットの魅力-かがやきの瞬間-」東京都写真美術館、東京
 「Beyond The Border」Tangram Art Center、上海、中国
 「木村伊兵衛写真賞 35 年周年記念展」川崎市民ミュージアム、神奈川
 「私を見て！ヌードのポートレート」東京都写真美術館、東京
 「まばゆい、がらんどろ」東京藝術大学大学美術館、東京
- 2009-10 「貴方愛するときと憎むとき」沖縄県立博物館・美術館、沖縄
- 2009 「中国現代美術との出会いー日中当代芸術にみる21世紀的未来」栃木県立美術館、栃木
 「第5回 太宰府天満宮アートプログラム 高松次郎 | 鷹野隆大 “写真の写真”と写真」太宰府天満宮 宝物殿、福岡
- 2008 「Daegu Photo Biennale 2008」EXCO テグエキシビジョンアンドコンベンションセンター、大邱広域市、韓国
 「Backlight 2008 Tickle Attack 8th International Photography Triennial」エキシビジョンセンター TR1 Tampere、フィンランド、他
 「写★新世界」せんだいメディアテーク、宮城
 「鷹野隆大×尾仲浩二 上海二人展」ギャラリー街道、東京
 「液晶絵画展 スティール | モーション」三重県立美術館、三重 / 国立国際美術館、大阪 / 東京都写真美術館、東京
- 2007-08 「A Private History」フォトグラフィックセンター、コペンハーゲン、デンマーク
 VB-フォトグラフィックセンター、クオビオ、フィンランド
- 2007 「Japan Caught by Camera - Works from the photographic Art in Japan」上海美術館、上海、中国
 「現代日本芸術祭」ヘイリ芸術村、坡州、韓国
- 2005 「ポスト・ジェンダー」ティコティン美術館、ハイファ、イスラエル
 「85/05：幻のつくば写真美術館からの20年」せんだいメディアテーク、宮城
- 2004-10 「out of the ordinary / extraordinary」国際交流基金ケルン日本文化会館、ケルン、ドイツ 以降、スペイン、ベルギー、イタリア、イギリス、メキシコ、アメリカ、日本、フィリピンを巡回
 「日常の変貌」群馬県立近代美術館、群馬
- 2003 「Mask of Japan : Japanese Contemporary Photography」aura gallery、上海、中国
- 2002 「Japanese Contemporary Art 展」トルコ中央銀行ギャラリー、イスタンブール、トルコ、他
 「手探りのキス 日本の現代写真」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川
- 2001 「手探りのキス 日本の現代写真」東京都写真美術館、東京
- 2000 「VOCA 展 2000」上野の森美術館、東京

<パブリックコレクション>

東京国立近代美術館
 国立国際美術館
 東京都写真美術館
 府中市美術館
 広島市現代美術館
 川崎市市民ミュージアム
 上海美術館
 国際交流基金
 太宰府天満宮
 The Kinsey Institute
 JPMorgan Chase Art Collection
 アマナコレクション

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp

[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-18:00 [定休日] 日・月・祝日